

**平成29年度 名寄市教育改善プロジェクト委員会  
教育研究(研修)の充実に関する研究グループ 活動報告**

**1 委員名簿**

グループ主任	堀江 充 (名寄西小)	
	道徳班	外国語・英語班
グループ副主任	那須 隆哉 (名寄東中)	伊端 俊紀 (中名寄小)
研究 主任		佐藤 郁彦 (名寄小)
研究 副主任	長岡 勇樹 (風連中央小) 妹尾 洋美 (風連中)	澤田 克之 (名寄東小) 三戸 孝之 (智恵文小)
研究員	日下 裕太 (名寄小) 高橋 理 (名寄中) 久保 康徳 (名寄南小) 手塚 諒 (名寄東中) 木戸口 玲 (智恵文中) 齋藤 年恵 (名寄西小)	須藤 仁志 (風連中央小) 久保 稔 (中名寄小) 齋藤 梓伸 (名寄東小) 吉野由希子 (風連中)

**2 研究内容**

教員の資質・能力の向上を目指す研修(研究)の推進

- ① 特別な支援を必要とする児童生徒の指導の充実
- ② 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる道徳教育の充実
- ③ 生涯にわたって運動に親しもうとする態度を育む体育、保健体育の充実
- ④ 外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育む外国語教育の充実
- ⑤ ICT機器の効果的な活用の調査・研究

**3 年次計画**

	①②⑤ 道徳班	④ 外国語・英語班	③ 体育・保体班
29年度	<p>② 「特別の教科道徳」の年間指導計画の作成と授業研究</p> <p>(1) 郷土教材「名寄岩」による授業研究</p> <p>(2) 教科書選定後、指導計画や学習過程などのサンプルを作成・提示</p> <p>(3) 家庭・職員向けリーフレットの作成</p>	<p>④ 外国語活動、英語の年間指導計画の作成、時間割の編成の工夫、アクティビティー等の研究(研修)</p> <p>(1) 時間割編成に関わる実態調査</p> <p>(2) 時間割のモデルを提示</p> <p>(3) 指導計画に関わる調査、モデルを提示</p> <p>(4) 家庭・職員向けリーフレットの作成</p>	<p>③ 体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研究(研修)の実施</p> <p>(1) 従来の新体力テストに関わる研修会(5月中旬までに)</p> <p>(2) 調査結果の分析</p> <p>(3) 授業改善(次年度の主)</p> <p>従来通りの研修のため、研究副主任で企画・調整・実施</p> <p>分析については、教頭内で分担</p>
30・31年度	<p>② 「特別の教科道徳」、外国語活動、英語等の授業研究</p> <p>① 特別な支援を必要とする児童生徒の指導の充実</p> <p>⑤ ICT機器の効果的な活用の調査・研究(名寄市学校教育情報化推進委員会の取組の共有)</p>		<p>③ 体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研修の実施</p> <p>③ 体育、保健体育の授業研究</p>

#### 4 今年度の活動経過

	活 動 内 容
4月	26日(水) 第1回教育改善プロジェクト会議、研究グループ会議(名寄市役所) 内容: グループ主任挨拶 研究員・研究内容・役割分担の確認 年次計画・推進日程の確認 留意事項の確認 など
5月	16日(火) 新体力テストに関わる研修会(名寄西小 体育館) 17日(水) 第2回教育改善プロジェクト委員会
6月	20日(火) 「外国語に関わる時間割編成の実態調査」実施 26日(月) 「郷土教材『名寄岩』による授業研究」第1回指導案検討(名寄西小)
7月	5日(水) 「郷土教材『名寄岩』による授業研究」第2回指導案検討(名寄西小) 24日(月) 「郷土教材『名寄岩』による授業研究」公開授業(名寄西小)
10月	3日(火) 研究グループ 今後の活動についての協議(名寄市役所) 内容: 「外国語」「道徳」リーフレット作成について 「全国体力・運動能力・運動週間等調査結果」集計について 今年度の活動報告書について 27日(金) 「外国語活動・外国語科(英語)」「特別の教科 道徳」の保護者・地域向けリーフレット作成に係る会議(名寄市役所) 内容: リーフレットの項立てについて、作成日程について 「Q&A」作成の役割分担について
11月	1日(水) 名寄市全小・中学校「全国体力・運動能力・運動週間等調査結果」集計完了 14日(火) 名寄市教育研究大会
12月	7日(木) 「外国語活動・外国語科(英語)」「特別の教科 道徳」の保護者・地域向けリーフレット完成 13日(水) 第3回教育改善プロジェクト委員会

#### 5 今年度の実践について

##### (1) 新体力テストに関わる研修会

期 日: 平成29年5月16日(火)

場 所: 名寄市立名寄西小学校 体育館

講 師: 風連中学校 教諭 米田 健二

参加者: 名寄市内小学校教員、中学校の体育科担当教員等 合計40名

ねらい: 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より、名寄市として課題となっている走力等の項目を克服するための効果的な指導法等について、実技をとおして研修を深める。

##### 成果と課題

○研修会の実施日が運動会や体育祭の前で、徒競走のタイム測定をする時期であったため、すぐに指導に生かすことができた。

○マーカーを使用したストライドの練習と2人1組で柔道着の帯を引きながら走る練習は、授業に取り入れやすく、子どもたちが楽しく取り組める内容であった。

○体をほぐすことですぐに温まり、子どもたちに自信をもたせながら運動させる方法について学び合うことができた。

●新体力テストの測定時期に入る前に、教員の研修が実施できるとなおよい。



(2) 郷土教材『名寄岩』による授業研究 公開授業

日時：平成29年7月24日(月)6校時

児童：名寄市立名寄西小学校 5年1組

授業者：教諭 齋藤 年恵

主題名：「困難を乗り越えて」(内容項目1-(2)〈希望・勇気・努力〉)

資料名：『名寄岩』(名寄市共通教材 参考文献「涙の敢闘賞」)

ねらい：より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする態度を養う。

授業づくりについて

- ・授業者が、昨年度学習指導グループで作成した指導案をベースに、反省をふまえて授業の構築を行う。
- ・名寄岩の心情に共感し、ねらいに迫るために、写真や映像の資料などを活用する。
- ・相撲界の厳しさと名寄岩の努力を実感させる手立てを工夫する。
- ・発問数が多くなならないようポイントを絞る。

成果と課題(主なもの)

- 大関になる大変さを説明し、子どもたちに相撲の情報を的確に与えていた。
- ICTを効果的に使い、パワーポイントの内容もよかった。
- 発問数が多すぎず、授業の流れもスムーズだった。
- 交流場面は、一人ひとりの考えを深めるのに有効だった。
- 「考え、議論する道徳」の実現に向けて葛藤場面を設定し、子どもに課題意識をもたせて自分事として考えさせたい。
- 読み物資料の範読と名寄岩の説明で、10分を超えていた。子どもが考えたりシートに書いたりする時間が短くなってしまった。
- 中心発問での補助発問を取り入れて、揺さぶりをかけるなどして、自分の考えについて根拠をしっかりとらせることが大切である。
- 授業の最後に、自分事として学習を振り返る手立てを工夫する必要がある。



(3) 「外国語活動・外国語科(英語)」 「特別の教科 道徳」の保護者・地域向けリーフレットの作成・配布

次期学習指導要領の改訂に伴って、名寄市全小・中学校で取り組んでいくこと、指導の基本方針などについて、保護者・地域住民にわかりやすいように作成し、第3学期始めに配布した。

「外国語活動・外国語科(英語)」の保護者・地域向けリーフレット

外国語活動及び外国語科(英語)について

平成28年度 名寄市教育改善プロジェクト委員会  
総合研究(研修)の成果に関する研究グループ

本町で指導者養成研修(1)を行った小学校では、2年度からは年間必修期間が平成27年度からの全面必修となりました。行方、支那(中国)やアフリカ、オセアニア(オーストラリア)の国々が登場し、英語が活用されることにより、子どもたちの英語力向上が期待されています。

**中学校外国語活動、高等学校外国語科(英語)を履修し、それぞれの進路を目指し**

これを受け、小学校では英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」というコミュニケーション能力の基礎的な能力構築に向け、主体的な学習活動を展開する取組が実施されています。

また、小学校で学習する「聞く」「話す」の基礎的な能力を、中学校で発展的に学習し、高等学校で活用する機会が増えています。

**今までと何がかわるの？**

☆中学校外国語科へのスムーズな接続  
☆平成32年度へのスムーズな移行

を日指し

名寄市内全小学校において

外国語活動(3:4年生) :::: 年間35時間  
外国語科(5:6年生) :::: 年間70時間

で先行実施します

そこで名寄市では

**増加する授業時間の確保のために、習字学校では  
学年別の時間別の作成に取り組んでいます**

基本方針 日課の見直し、  
年間の学校行事の精選  
朝や放課後の時間の有効活用  
など

現在、名寄市内各小学校では自校の実態を考慮し、  
本年度に向けて編成作業を進めています

**Q & A**

Q1 今までの学習内容は、F04に変わりますか？  
A1 6・7・11の外国語活動は、専攻が小学校に属する40分授業時間(15分)に削減され「聞く」「話す」の基礎的な能力構築に向け、主体的な学習活動を展開する予定です。5・6年生の外国語科は、年間35時間(15分)と15分授業の10分授業で構成される予定です。そのほか、5・6年生は「書く」の学習も、4・5年生と同様に、既習内容に英語で復習する機会を確保しています。

Q2 アスリはありますか？ 秋(6)はどれくらい、F04に60分授業ですか？  
A2 6・7・11の外国語科は、専攻が小学校に属する40分授業時間(15分)に削減され「聞く」「話す」の基礎的な能力構築に向け、主体的な学習活動を展開する予定です。5・6年生の外国語科は、年間35時間(15分)と15分授業の10分授業で構成される予定です。そのほか、5・6年生は「書く」の学習も、4・5年生と同様に、既習内容に英語で復習する機会を確保しています。

Q3 進路別の履修はどのようになっていますか？  
A3 6・7・11の外国語科は、専攻が小学校に属する40分授業時間(15分)に削減され「聞く」「話す」の基礎的な能力構築に向け、主体的な学習活動を展開する予定です。5・6年生の外国語科は、年間35時間(15分)と15分授業の10分授業で構成される予定です。そのほか、5・6年生は「書く」の学習も、4・5年生と同様に、既習内容に英語で復習する機会を確保しています。

「特別の教科 道徳」の保護者・地域向けリーフレット

特別の教科 道徳について

平成28年度 名寄市教育改善プロジェクト委員会  
総合研究(研修)の成果に関する研究グループ

本町で指導者養成研修(1)を行った小学校では、「特別の教科 道徳」として、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。これは、これまでの道徳科(2年生から5年生)と異なり、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。

**「考える道徳」、** **「議論する道徳」**

を日指し

名寄市内全小学校において

「考える道徳」、  
「議論する道徳」

を日指し

そこで名寄市では

**「考える道徳」「議論する道徳」の取組のために、  
各小学校で時間別の作成に取り組んでいます**

道徳科の授業では、F04に60分授業が実施されています。これは、これまでの道徳科(2年生から5年生)と異なり、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。

**Q & A**

Q1 道徳科の授業では、F04に60分授業が実施されますか？  
A1 道徳科の授業では、F04に60分授業が実施されています。これは、これまでの道徳科(2年生から5年生)と異なり、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。

Q2 道徳科の授業はどのようになっていますか？  
A2 道徳科の授業では、F04に60分授業が実施されています。これは、これまでの道徳科(2年生から5年生)と異なり、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。

Q3 道徳科の授業はどのようになっていますか？  
A3 道徳科の授業では、F04に60分授業が実施されています。これは、これまでの道徳科(2年生から5年生)と異なり、1年生から5年生まで、年間35時間の授業が実施されています。

6 今年度の実践について  
このグループの1年間の取組全体についての成果と、来年度に引き継ぐことをまとめた。

- (1) 成果
- ・道徳の郷土教材「名寄岩」の研究について、昨年度までの実践を引き継ぎ、指導を進める上での留意点などについて、理解をより一層深めることができた。
  - ・英語と道徳のリーフレットを作成したことで、グループの所員自身が学習する機会ともなり、保護者・地域の方にも知ってもらえることができた。
- (2) 来年度に向けて
- ・それぞれのグループの取組を、自校の先生方にしっかり伝えていく。
  - ・外国語科や道徳の授業研究とあわせて、評価についても研修を深めていく。
  - ・外国語科については、授業研究を中心に据え、研修を進めていく。
  - ・所員が会議に出席できるように、事前に日程調整をする。